

事務局

事務局長 伊藤 公一
財務委員長 中島 和人
事務局次長 加藤 信宏

1) 基本方針

1 近年、急速に進化するデジタル技術は、情報へのアクセスや技術の活用能力における格
2 差を広げる要因とされています。このような状況は、社会的な課題として注目されており、
3 四日市市の情報化実行計画でも、デジタル格差が解消すべき課題として位置づけられてい
4 ます。事務局は、成長の場である青年会議所の運営を円滑に進める中で、デジタル技術の
5 活用に関する意識を高める契機を提供し、課題解決の一助となる活動を進めていきます。

6 まず、デジタル格差に対してより良い変化をもたらすリーダーへ会員が成長するため、
7 運動を構築する中で生じる課題に対応し、デジタル技術を活用した課題解決の機会を多く
8 提供します。また、その技術を活用した勉強会や研修会を開催し、会員が実践的知識を学
9 ぶ場を設けます。さらに、広報活動では映像媒体を中心として研究を深め、効果的な広報
10 を通じて会員がデジタル技術に興味を持つ機会を提供します。そして、成長の場である青
11 年会議所を円滑に運営するためには、事務局が会議運営や資料管理などを担い、役割を果
12 たすことでの会運営を支えています。組織運営のための会議であり、志を同じくする場でも
13 ある通常総会と臨時総会では、多様な価値観を持つ会員が運動の方向性を共有し、意識の
14 統一を図ります。さらに、卒業式では、卒業生が青年会議所で培った経験を振り返り、そ
15 の成果を未来の活躍につなげるため、在籍メンバーと理想実現への意識を共有します。ま
16 た、創立 70 周年を迎える今、これまで社会により良い変化をもたらしてきた四日市青年会
17 議所の歩みを振り返り、築いた信頼と実績を未来につなげるため、記念誌を発刊します。

18 すでに子どもたちの原風景のすぐそばには、多くのデジタル技術が存在し、今も未来へ
19 と歩み続けています。私たちの手で効率的かつ制約の少ないデジタル技術を活用しながら、
20 未来へと歩むことが重要です。本年をより良い未来の原風景を描くための契機とします。

21

2) 事業計画

23 1. 第 125 回通常総会	1 月 13 日
24 2. 第一回臨時総会	6 月 10 日
25 3. 第二回臨時総会	7 月 23 日
26 4. 70 周年記念誌の発行	11 月中旬
27 5. 12 月度例会(卒業式)	12 月 7 日
28 6. 出向者への支援	通年
29 7. 同好会への支援	通年

30

3) 事業予算

32 1. 委員会事業費	240, 000 円
33 2. 70 周年準備金会計	450, 000 円

34 4) 委員会開催予定日

毎月第 2 火曜日